



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

5月園だより

令和6年4月26日

April. 26, 2024

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



新しい世界へ

園長 河合 晴美

入園、進級をして2週間が経ち、それぞれの学級での毎日が穏やかに流れています。進級した幼児には、新しいことを自分ごととして考え、身に付けられるようにしています。入園した幼児は、一つ一つの出来事が安心する気持ちで受け止められるようにしています。新生活の慌たしさもありますが、幼稚園では、新緑の中で心地よい風が吹いたときや見上げた空がきれいな青い色だったり、チョウが近くを飛んできたりしたときには、心を穏やかに「気持ちいいな・・・」と感じていただきたいと思っています。

3歳児りんご組は、いろいろな遊びの場が設定されている中で、自分で選び、試していくことが遊びになっています。「やってみようかな・・・」「どうなっているんだろう・・・」と思ったときに声を掛けられたり、ものを差し出されたりすることがきっかけとなり、自分のペースで試していきます。周囲にいる友達の動きをよく見て、取り入れていく様子も見られます。それぞれが自分自身で世界を広げていく頼もしい姿です。

4歳児は、大きくなったことで「やってみたい」という気持ちを表す一方で、まだ少しためらうことがあり、「大丈夫だよ」「いいよ」という後押しがあると気持ちが前向きになり取り組んでいきます。やってみたら出来たという思いやみんなと一緒にだと安心するという気持ちが新しいことにつながっています。

5歳児は、「楽しい!」と思うことに対し気持ちが同じ方向に向いています。「いいな」と思うことをつぶやくとそれらに反応し、受け入れてくれる仲間の姿があります。それぞれの個性があるからこそ新しいことがより豊かに展開しています。

環境や周囲に変化があると前へ進むことを躊躇してしまいがちですが、大きく深呼吸して新たな力を取り込んでいきたいものです。子どもたちは、自分自身にある力を出しながら新たな世界を受け止め、取り込んでいます。その姿に対し、焦らず一人ひとりのペースで進めていけるよう支えています。



<砂場大好き 3歳児>



<ハードルに挑戦する 4歳児>



<八重桜を見ながら昼食をとる 5歳児>

